

春の大日岳へ行く

5/27 天気予報が周期的にめまぐるしく変わる不安定な天候だったが、ひまわりの予想天気図が朝方、弱いながらも高気圧が張り出し、よい天気になったので、大日岳まで行くことにした。

早朝、多少雨が残ったが天気予報を信じて頑張ろう。

称名坂は、先日なだれの事故のため通行禁止と聞いていたのだが、登山者は各自の責任において通ることが可能であるらしい。

大日岳へは、天候がめまぐるしく変わる不安定な天気だったが、頂上では、素晴らしい天気。

剣岳こそ見えなかったが、雷鳥が親子でご挨拶。

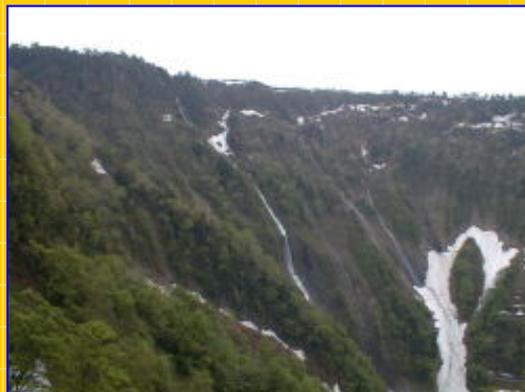
おまけに、「昼寝」などができて、至福の1日でした。

称名の開門が7時〔6月1日より6時〕なので、その前に今度行く予定の有峰林道の下見をした。現在、工事のため部分開通である。〔通る時間帯制限〕しかも7時開門である。

6月1日より、6時開門、スムーズに行けると思います。



称名坂のお花畑。称名坂の急な登りの終わり、「牛の首」からの称名滝風景〔でもハンノキ滝だけで、称名滝は見えません。〕このコース途中雪渓が少しあるので、まだ注意が必要。



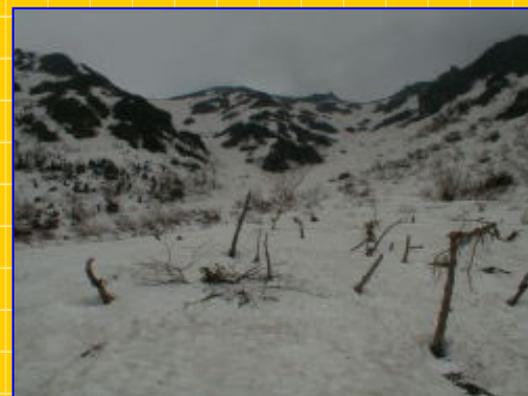
「牛の首」を登りきると、一面の雪世界。大日平は、まだまだ雪が多い。
夏は、広大なお花畑なのだが・・・・・・右の写真は、大日平小屋からの大日岳への雪渓。



大日平山荘です。7月10日にオープン。現在もずっと小屋の三代目の若いご主人が準備をしています。〔浄化槽が壊れたらしく、工事中でした。〕みなさん、是非この「大日平山荘」を訪れて下さい。 9・30



雪渓の途中でいたるところで見られる、樹木の残骸。雪のすさまじさを感じさせる。
以前、大日平山荘も全壊してしまった。がすっていたので、よくわからなかったが、雪渓をひたすら登ったら、もう大日山荘の高さまで来てしまった。面倒なので、そのまま直登することにした。

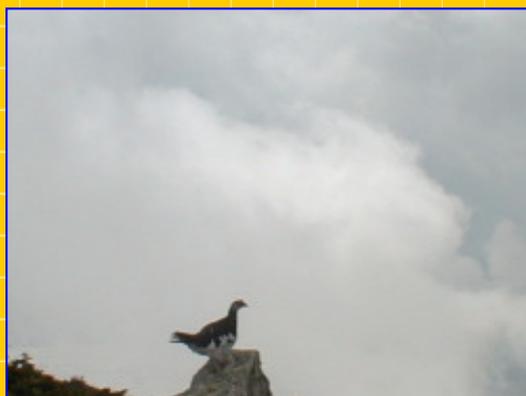
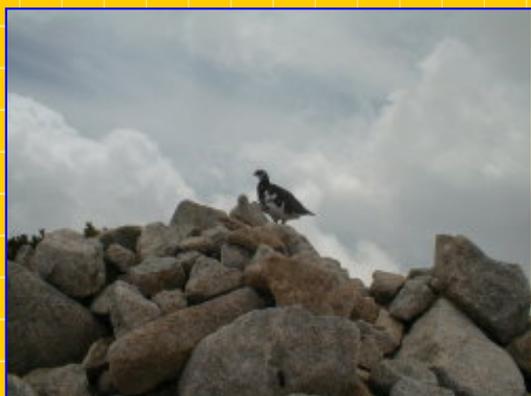


ようやく頂上に到着。大変よい天気だったが、ガスのため周囲の視界は悪い。
時折、奥大日岳などが見えるが、先週登った「剣岳」が見えない・・・・・・残念だ。 11:45



なんと・・・・・・・・雷鳥だ。頂上の社〔ほとんどなにもないが。〕の周りをまるで、自分たちの庭のように〔当然だが・・・〕

歩き回っていた。なんと、10分以上も姿をみることができた。今日は、一眼レフを撮る機会がないと思っていたのだが、まるまる一本撮ってしまった。どんなに近づいても、動かないので、ラッキーだった。始めて、しっかりと「雷鳥」を撮影した。

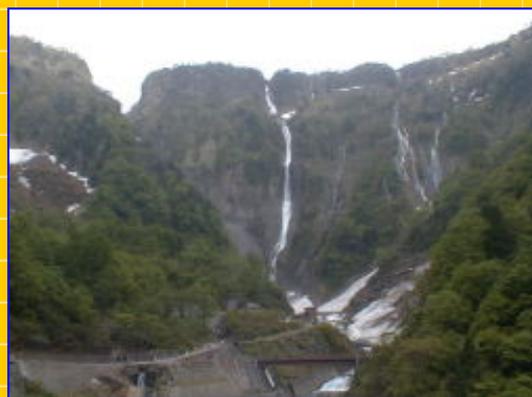


弥陀ヶ原を望む、雪渓から大日平を望む。 13:00



称名滝へ降りて余裕があったので、滝見台まで行った。たくさんの観光客がいて、なぜか奇異に感じられるようで変な気持ちだった。でも久しぶりに見る「称名滝」は荘厳だった。この時期の滝は、もっとも水量が多く、他にもたくさんの滝が見られる。

16:00



左の写真は、悪城の壁。右の写真は、称名滝のレストラン「仙人池ヒュッテのおばちゃん」の息子さんがやっている。

